

1 レセプト点検調査の実施

	R1(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
財政効果額	7.2億円	7.9億円	7.5億円

2 ジェネリック医薬品差額通知の送付

	R1(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
発送時期	10月、3月	10月	11月
発送人数	5,100人	2,000人	2,000人
切替人数	245人	195人	308人
使用割合	78.4%	80.0%	79.8%

※「使用割合」は3月末時点の数値

3 第三者行為求償

	R1(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
求償件数	266件	268件	265件
交通事故	235件	242件	238件
交通事故以外	31件	26件	27件
求償額	1.5億円	1.3億円	1.6億円
うち収入額	1.4億円	1.1億円	1.5億円

4 医療費通知の送付

	R1(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
送付回数	1回	2回	2回
送付枚数(計)	361,481通	489,795通	496,621通

※令和2年度、令和3年度

- ① 1回目：1月～10月診療分
- ② 2回目：11月、12月診療分

5 適正服薬にかかる文書送付

○以下の対象者の中から令和2年度はランダムに、令和3年度は効果が高い方から抽出

- ①重複服薬：同一診療年月において複数の医療機関から同一の薬効成分をもつ医薬品が処方されている。
- ②多剤服薬：12種類以上の医薬品が処方されている。
- ③併用禁忌：処方された医薬品の中に併用禁忌とされている組み合わせがある。

	R2(2020)年度	R3(2021)年度
発送時期	10月	10月
発送人数	1,000人	1,500人
改善人数	491人	904人
改善率	49.1%	60.3%

※令和2年度から開始

医療費適正化事業・保健事業 数値一覧

6 特定健康診査

- 特定健康診査受診率(法定報告)

	H30(2018)年度	R1(2019)年度	R2(2020)年度
特定健診受診率	22.4%	20.5%	19.0%
対象者数	260,352人	253,218人	251,159人
受診者数	58,261人	51,895人	47,770人

7 特定保健指導

- 特定保健指導実施率(法定報告)

	H30(2018)年度	R1(2019)年度	R2(2020)年度
特定保健指導実施率	8.2%	11.4%	9.1%
対象者数	7,176人	6,343人	6,182人
終了者数	587人	726人	562人

- 特定保健指導対象者の改善率

	H30(2018)年度	R1(2019)年度	R2(2020)年度
札幌市	25.0%	22.2%	16.9%
(参考)北海道	19.8%	19.0%	16.1%
(参考)全国	21.3%	21.0%	16.6%

※ 特定保健指導を受けた方のうち、次の特定健診にて特定保健指導の対象者とならなかった方の割合

8 生活習慣病重症化予防事業(令和2年度健診)

- 受診勧奨事業

	実績		
	H30(2018)年度	R1(2019)年度	R2(2020)年度
勧奨数(延べ人数)	717人	734人	930人
治療開始数(延べ人数)	190人	154人	218人
治療開始割合	26.5%	21.0%	23.4%

※ 「延べ人数」としている理由は、高血圧、HbA1cなどのそれぞれの対象基準に該当する方の合計であり、複数の基準に該当する方がいるためである。

- 服薬治療中の方への医療と連携した保健指導事業

	実績		
	H30(2018)年度	R1(2019)年度	R2(2020)年度
勧奨数(延べ人数)	2,203人	1,303人	1,241人
保健指導利用者数(延べ人数)	43人	21人	19人
保健指導利用割合	2.0%	1.6%	1.5%

※ 「延べ人数」の定義については同上。

- 糖尿病の治療を中断した方への受診勧奨事業

文書送付対象者(R3(2021)年8月)	受診者(R4(2022)年2月時点)
101人	26人(受診率25.7%)

※ 令和4年2月時点での未受診者42名に対して行った電話勧奨による受診状況の確認を、令和4年10月に行う予定

特定保健指導評価（抜粋）

アウトプット／アウトカム評価

R2 法定報告ベースのアウトプット／アウトカム評価

OR 2 年度特定保健指導実施率（法定報告）

区分		合計	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74
積極的支援 (40-64Y)	対象者	1,326	215	218	267	265	361	—	—
	終了者	72	10	13	5	20	21	3	—
	実施率	5.4%	4.7%	6.0%	1.9%	7.6%	5.8%	—	—
動機付け支援 (40-74Y)	対象者	4,856	139	169	141	156	255	1,692	2,304
	終了者	501	10	10	14	14	21	180	252
	実施率	10.3%	7.2%	5.9%	9.9%	9.0%	8.2%	10.6%	10.9%
合計	対象者	6,182	354	387	408	421	616	1,692	2,304
	終了者	573	20	23	19	34	42	183	252
	実施率	9.3%	5.7%	5.9%	4.7%	8.1%	6.8%	10.8%	10.9%

令和4年8月付記：令和3年11月の市算出値。令和4年6月の国公表値により9.1%が確定値となる。

40代：5.8% 50代：6.4% 60代：9.8% 70代：10.9%

【内訳】性別／保健指導レベル別／年代別

男性

	全年齢	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74
対象者数 (積・動合計)	3,946	262	288	298	277	371	1,012	1,438
積極的实施率	5.2%	4.6%	5.5%	1.8%	6.6%	6.2%	—	—
動機付実施率	10.1%	5.7%	4.7%	12.4%	8.6%	7.1%	11.1%	10.3%

女性

	全年齢	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74
対象者数 (積・動合計)	2,236	92	99	110	144	245	680	866
積極的实施率	6.4%	4.9%	8.3%	2.0%	10.1%	4.9%	—	—
動機付実施率	10.6%	9.8%	7.9%	6.7%	9.3%	9.2%	10.0%	12.0%

☞ 特定保健指導対象者は 6,182 人、うち男性は 3,946 人 (63.8%)、女性は 2,236 人 (36.2%) で男性が多い。

☞ 実施率は 9.3% で、年代が高くなるにしたがって上昇。(40代は 5.8%、70代は 10.9%)

☞ 保健指導レベル別の実施率は、積極的支援が 5.4%、動機付け支援が 10.3% で、よりリスクが重なっている積極的支援が低い。

☞ 最も実施率が低いのは、積極的支援・50-54 才・男女共に 2% 前後。

○特定保健指導改善率（法定報告）

定義：前年度と当該年度の健診を2年連続して受けた者で、前年度に特定保健指導を利用し、当該年度の健診結果が改善等して特定保健指導対象外となった者の割合。

	札幌市	北海道	全国
H28年度	24.5%	20.3%	22.3%
H29年度	24.6%	20.9%	21.7%
H30年度	25.0%	19.8%	21.3%
R1年度	22.2%	19.0%	21.0%
R2年度	16.9%	16.1%	16.6%

R1 特保利用者 510 人のうち、R2 特保対象者ではなくなった者が 86 人

※札幌市は法定報告、北海道と全国は KDB

改善率は減少傾向で、R2年度は前年度より 5.3P 減少し、全国・北海道とほぼ同値。R2年度は全国も 4.4P、北海道 2.9P 減少しているが具体的な理由は不明。

R2 実数ベース（健康かるて）のアウトカム評価

○R2 健診時⇒R2 特定保健指導最終評価時の改善度

◎対象者：R2年度特定健診受診者に対する特定保健指導を実施した者のうち、最終評価のデータがある者 645 人

◎評価指標：R2年度特定健診時と特定保健指導最終評価時の体重と腹囲の変化

【対象者の状況】

保健指導レベル	積極的支援	動機付け支援	計
利用者数	159 人	633 人	792 人
終了者数	102 人	543 人	645 人
途中脱落者数 ※1	16 人	4 人	20 人
未確定者数 ※2	41 人	86 人	127 人

※1：「途中脱落」の記載があり、途中脱落確定の者

※2：初回面接のデータはあるが、最終評価のデータがない者。今後「途中脱落」に確定する者と、最終評価中でこれからデータが上がってくる者が混在。

【保健指導レベル別の改善度】

	全体	積極的	動機付
体重の差 (kg)	-1.41 kg	-1.66 kg	-1.36 kg
腹囲の差 (cm)	-1.07 cm	-0.60 cm	-1.17 cm

保健指導終了時点での体重及び腹囲は、保健指導レベルを問わず減少している。

体重は、動機付け支援より積極的支援の方が減少している。

【実施機関別の改善度】

	全体	直営	委託
体重の差 (kg)	-1.41 kg	-1.39 kg	-1.42 kg
腹囲の差 (cm)	-1.06 cm	-1.3 cm	-1.01 cm

⇒直営と委託の改善度では差はほとんどない。

【年齢別の改善度】

	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75	計
人数	32	31	24	42	65	205	240	6	645
体重の差	-3.09	-1.90	-1.45	-1.30	-1.29	-1.46	-1.16	-1.00	-
腹囲の差	-1.17	-1.87	-0.67	-0.51	-0.62	-1.39	-0.94	-1.42	-

⇒体重、腹囲は全年齢で減少。

⇒体重は、40-44 才が-3 kg、45-49 才が-2 kgと大幅減。

【年齢別×積極的支援の改善度】

	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	計
人数	18	14	6	28	36	102
体重の差	-2.86	-2.15	-2.18	-0.99	-1.31	-
腹囲の差	-0.43	-3.31	-1.05	0.04	-0.04	-

⇒積極的支援の体重は、40~50 代前半が-2~3 kgの大幅減。

【年齢別×動機付け支援の改善度】

	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75	計
人数	14	17	18	14	29	205	240	6	543
体重の差	-3.66	-1.61	-1.17	-2.04	-1.25	-1.46	-1.16	-1.00	-
腹囲の差	-2.50	-0.19	-0.52	-1.79	-1.47	-1.39	-0.94	-1.42	-

⇒動機付け支援の体重は、40-44 才が-3.7 kg、55-59 才が-2 kgと大幅減。

<参考>

【第四期特定健診等実施計画 (R6~) について】

厚労省は「効果的・効率的な実施方法等に関するWG」において、特定保健指導について「アウトカム (成果)」でも評価する方針を示し、大筋で合意。

⇒今後、「最終評価時点での改善度」が評価される可能性が高いため、次年度以降も当該分析を進めていく必要がある。

OR I 特保利用⇒R2 健診検査値の改善度

◎対象者 : R1 年度特定健診受診者で R1 年度に特定保健指導利用者（初回面接実施者）のうち、R2 年度特定健診を受診した者 428 人

◎評価指標 : R1 年度特定健診時と R2 年度特定健診時の検査値（体重・腹囲・BMI・中性脂肪・HDL・HbA1c）の変化 ※血圧は 3 回（原則 2 回＋平均値）のデータが入力されており、改善値の算出に時間を要したため今回は除いた。

【対象者の状況】

保健指導レベル	積極的支援	動機付け支援	計
利用者数	54 人	374 人	428 人

【年齢別×積極的支援の改善度】 54 人

	保健指導判定値	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64
人数		5	8	8	6	27
体重		-0.56	-0.33	2.09	0.43	-0.33
腹囲	男 85 以上、女 90 以上	-2.14	0.54	2.63	0.67	-1.54
BMI	25 以上	-0.34	-0.13	0.66	0.27	-0.06
中性脂肪	150 mg/dl 以上	-113.8	-73.88	-35.88	17.33	-35.56
HDL	39 mg/dl 以下	6.80	2.63	-3.63	-0.50	2.81
HbA1c	5.6 以上	0.26	0.05	0.19	-0.07	0.03

☞検査値別では、中性脂肪が 55-59 才以外の全ての年齢で減少しており、特に 40 代の減少幅が大きい。動機付け支援の 40 代と比較しても減少幅が大きい。50 代の中性脂肪や HDL コレステロールの改善度が他の年代より低いのは、閉経後の女性の脂質異常が影響している可能性もある。HbA1c は、55-59 才以外の全ての年齢で横ばいまたは微増。

☞年齢別では、40-44 才が HbA1c を除く全ての検査値に改善が見られる。一方、50 代は全体的に改善が見られない。

【年齢別×動機付け支援の改善度】 374 人

	保健指導判定値	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74
人数		7	6	9	13	23	163	153
体重		-2.01	-0.48	-1.53	-0.79	-0.20	-0.90	-0.83
腹囲	男 85 以上、女 90 以上	-1.47	1.17	-1.46	-0.48	-0.75	-1.43	-1.25
BMI	25 以上	-0.64	0.02	-0.40	-0.25	-0.01	-0.30	-0.30
中性脂肪	150 mg/dl 以上	-40.29	4.83	11.22	-28.54	5.17	-2.57	4.19
HDL	39 mg/dl 以下	4.00	-2.83	-3.67	2.15	-3.00	0.20	-1.00
HbA1c	5.6 以上	0.01	0.08	0.07	0.13	0.18	0.07	0.08

☞検査値別では、体重が 75 才（初回面接時は 74 才）以外の全ての年齢で減少、HbA1c が全ての年齢で横ばいまたは微増。中性脂肪は、積極的支援ほどの減少が見られない。

☞年齢別では、40-44 才、55-59 才、65-69 才が HbA1c を除く全ての検査値に改善が見られる。

事業名		事業内容	実績 (R2 年度)	評価
8 (2) 服薬治療中の方への医療と連携した保健指導事業	特定保健指導非対象者重症化予防事業 (元気アップ 応援事業)	服薬中のために特定保健指導の対象とならない、以下の基準該当者に対して訪問・電話・文書送付により事業への参加を勧奨する。参加希望者に対し、主治医と連携して特定保健指導（積極的支援）に準じた保健指導を実施する。 対象者：①Ⅱ度高血圧以上 ②LDL コレステロール 180 mg/dℓ以上	・1,061 人に利用案内を送付し、15 人（1.4%）から申込があった。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため案内を中止した影響を受けた。 ・参加者 15 人中 12 人が 70～74 歳 ・高血圧の参加者の 9 割以上が収縮期血圧の低下がみられた。また支援後の生活習慣（食生活・身体活動）または行動目標のいずれかが改善できた者は 100%だった。 ・脂質異常症の参加者は、血液データである LDL コレステロール値の評価は検査時期の関係でできなかったが、生活習慣または行動目標のいずれかが改善できた者は 100%だった。
	糖尿病性腎症重症化予防事業 (元気アップ 応援事業)	特定保健指導対象者を除く下記の基準該当者に対して、訪問・電話・文書送付により事業への参加を勧奨する。参加希望者に対し、主治医と連携して特定保健指導（積極的支援）に準じた保健指導を実施する。 対象者 糖尿病治療中：Hba1c7.0 以上	・180 人に利用案内を送付し、4 人（2.2%）から申込があった。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため案内を中止した影響を受けた。 ・参加者全員が 70～74 歳 ・参加者のほとんどが Hba1c の低下がみられ、支援後の生活習慣または行動目標のいずれかが改善できた者は 100%だった。
8(3)	糖尿病の治療を中断した方への受診勧奨事業	〈令和 3 年度試行実施〉 令和元年度に糖尿病と診断され、令和 2 年度に医療機関も特定健診も受診していない 40～74 歳の方に、医療機関への受診勧奨を実施する。	・101 人に対して文書で受診勧奨を実施。勧奨後の受診率は 25.7%（26 人）だった。	・勧奨文書送付後にレセプト及び健診結果の確認により血管イベントを起こさず受診した者は 17 人（16.8%）おり、送付がきっかけで受診再開につながった可能性がある。

※ 令和 4 年 8 月 23 日の国保運営協議会における資料 5 「令和 3 年度医療費適正化事業・保健事業の取組」の 8（1）～（3）は、上記表左の番号と一致

（1）受診勧奨事業 930 人（受診率 23%）は、以下の合計

- ・特定保健指導重症化予防事業 498 人
- ・特定保健指導非対象者重症化予防事業（健診フォローアップ事業） 343 人
- ・糖尿病性腎症重症化予防事業（健診フォローアップ事業） 89 人

（2）服薬治療中の方への医療と連携した保健指導事業 参加人数 19 人は、以下の合計

- ・特定保健指導非対象者重症化予防事業（元気アップ応援事業） 15 人
- ・糖尿病性腎症重症化予防事業（元気アップ応援事業） 4 人